

# 授業科目 解剖学演習

【担当教員名】 阿部 薫	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## 【概要・一般目標：G10】

運動器としての四肢・体幹の骨、関節、筋、神経、脈管の名称と構造、および形態を理解する。

## 【学習目標】

1. 四肢・体幹の骨、関節、靭帯について説明できる。
2. 四肢・体幹の筋の機能分類について説明できる。
3. 四肢・体幹の筋の局所解剖について説明できる。
4. 四肢体幹の神経と脈管の形態と位置について説明できる。
5. 四肢体幹の神経と脈管の局所解剖について説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	体幹1(骨、関節、靭帯)	1	講義
2	体幹2(筋の機能による区分)	2	講義
3	体幹3(筋の局所解剖)	3	講義
4	体幹4(神経と脈管の形態と位置)	4	講義
5	体幹5(神経と脈管の局所解剖)	5	講義
6	上肢1(骨、関節、靭帯)	1	講義
7	上肢2(筋の機能による区分)	2	講義
8	上肢3(筋の局所解剖)	3	講義
9	上肢4(神経と脈管の形態と位置)	4	講義
10	上肢5(神経と脈管の局所解剖)	5	講義
11	下肢1(骨、関節、靭帯)	1	講義
12	下肢2(筋の機能による区分)	2	講義
13	下肢3(筋の局所解剖)	3	講義
14	下肢4(神経と脈管の形態と位置)	4	講義
15	下肢5(神経と脈管の局所解剖)	5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	プロメテウス解剖学アトラス(解剖学 総論/運動器系)	ミハエル・シュンケほか	医学書院	2007・12,000円 + 税・ ISBN : 9784260002394
参考書				
その他の資料				

## 【評価方法】

出席状況、小テスト、最終試験

## 【履修上の留意点】

医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。